

特記仕様書 (1)

工 事 概 要	
-1 工 事 名 称	東部総合運動場野球場関連施設電気設備工事
-2 工 事 場 所	高知市五台山
-3 工 事 期 間	年 月 日 ~ 年 月 日
-4 建 物 概 要	建物名称 構造および階数 面 積 (㎡)

工 事 仕 様	図面及び特記仕様に記載されていない事項は、高知市建設部建築課電気設備共通仕様書による。
-1 共 通 仕 様	1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
-2 特 記 仕 様	2) 選択事項は◎印のついたものを適用する。ただし◎印のない場合は※印を適用する。

-2-1 一般共通事項	<table><tr><td>① 機 材</td><td>設備機材等指定表による。</td></tr><tr><td>② 工 事 用 仮 設 物</td><td>構内につくることが ○できる ・できない</td></tr><tr><td>③ 発 生 材 の 処 理</td><td>※引渡しを要しない。 ・引渡しを要するもの。 ()</td></tr><tr><td></td><td>※建設廃棄物の運搬、処分等については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」並びに関係法令に従い適正処理を行うものとし、事前に処理計画書を提出し、監督員の承諾を得ること。</td></tr><tr><td></td><td>(建設廃棄物の運搬又は処分を他業者に委託する場合は、運搬については産業廃棄物運搬業者、処分については産業廃棄物処分業者とそれぞれ、書面により委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付すること。産業廃棄物マニフェストは、廃棄物種別、数量を明確にし、後日その写しを監督員に提出すること。)</td></tr><tr><td></td><td>・特別管理産業廃棄物(廃石綿等)の運搬、処分等については、上記による他、特別管理産業廃棄物管理票(マニフェスト)を使用すること。</td></tr><tr><td>④ 残 土 処 分</td><td>・構内指示の場所に敷きならし ○構外搬出適切処理</td></tr><tr><td>⑤ 工 事 ・ 完 成 写 真</td><td>カラーサービス版 指示枚1部</td></tr><tr><td>⑥ 他 工 事 と の 取 り 合</td><td>はり貫通部の補強 ※別途工事 ・本工事</td></tr><tr><td></td><td>はり貫通部のスリーブ ※本工事 ・別途工事</td></tr><tr><td></td><td>天井埋込型器具の取付箇所の下地の切り込み及び補強 ※別途工事 ・本工事</td></tr><tr><td></td><td>軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地 ※本工事 ・別途工事</td></tr><tr><td></td><td>埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強</td></tr><tr><td></td><td>仮枠 ※本工事 ・別途工事</td></tr><tr><td></td><td>補強 ※別途工事 ・本工事</td></tr><tr><td></td><td>テレビアンテナ、避雷針の基礎 ※別途工事 ・本工事</td></tr><tr><td>⑦ 露 出 配 管</td><td>露出配管には、ねじなし電線管を使用しない。</td></tr><tr><td>8 塗 装</td><td>露出配管および支持金物等は指示なき限りフタル酸系塗料にて指定色2回塗りとする。屋外またはそれに準ずる箇所は同3回塗りとする。その他特殊場所については監督員の指示に従う。</td></tr><tr><td>⑨ 呼 び 線</td><td>長さ1m以上の入線しない管路には 1.2mm以上のIV電線を挿入し両端には行先表示を取り付ける。</td></tr><tr><td>10 プ レ ー ト の 材 質</td><td>・樹脂製 ・新金属 ・ステンレス</td></tr><tr><td>⑪ ブ ル ボ ッ ク ス</td><td>F5型(埋込部を除く、ふた部分)はメラミン焼付塗装とする。屋外・屋側に設けるブルボックスはSUS304を使用し、防水型とする。</td></tr><tr><td>12 カバ-プレート-の表示</td><td>電灯灯、動力動、電話T、電気時計時、放送放、表示表、インターホンイ、テレビ共聴TV、火災報知火印のシールを貼付ける。</td></tr><tr><td>⑬ 電 線 本 数 ・ 管 路 等</td><td>制御回路、通信設備の配線で、配線経路、電線サイズ、電線本数、管路サイズなどは監督員との協議により図面表示と多少相違、増加させてよい。</td></tr><tr><td>⑭ ボ ル ト ・ 等</td><td>ボルト・ビス・ナット・木ネジ等は黄銅、ステンレス等の錆びない性質のものを使用する。</td></tr><tr><td>⑮ 地 中 配 管</td><td>地中配管で金属管を使用する場合は防触テープを施す。ただし特に指示のない場合は耐衝撃性強化ビニル電線管を使用する。</td></tr><tr><td>⑯ 地 中 管 路 埋 設 表 示</td><td>地中配管埋設備所には配管の行先を表示する。方向を記入したコンクリート杭(100X100X300)を埋設する。ただし、舗装された場所は鉄製鎮(建設省認定品)とする。</td></tr><tr><td></td><td>設置間隔は特記なき限り15mとする。また、高低圧埋設テープ(ダブルGL-300)施工のこと。</td></tr><tr><td>⑰ 接 地 埋 設 表 示</td><td>黄銅板製(避雷設備用及び共同接地極埋設表示)</td></tr><tr><td>⑱ ハンドホール及びマンホール</td><td>ハンドホール内での配線にはケーブル余長を約1m程度見込む。またケーブルには負荷種別を記入したアクリル板の名札を取付ける。強固仕切ブロックは2段積みとする。</td></tr><tr><td></td><td>ふたは電気文字入りとする。</td></tr><tr><td></td><td>形式 ・H1 ※H2 カバー ※SBK ・RBK マンホールは特記による</td></tr><tr><td>⑲ 提 出 図 書 の 部 数</td><td>(1)工 程 表 ※ 2 部 ・ 2 部 (2)内訳明細書 ※ 2 部 ・ 2 部</td></tr><tr><td></td><td>(3)安全管理組織表 ・ 2 部 (4)下 請 業 者 届 ・ 2 部</td></tr><tr><td></td><td>(5)主要資材発注先届 ・ 2 部 (6)免許・資格等の写し ・ 2 部</td></tr><tr><td></td><td>(7)工事施工計画書 ・ 2 部 (8)施 工 図 ・ 1 部(原図)</td></tr><tr><td></td><td>(9)機器承認図 ・ 3 部 (10)機器取付 詳細図 ・ 2 部</td></tr><tr><td></td><td>(11)黒表紙金文字製本(竣工時) ○ 要 2 部 ・ 不要</td></tr><tr><td>20 需 要 家 名</td><td>電気料金の需要家名を次のようにする。</td></tr><tr><td></td><td>需要家名</td></tr><tr><td></td><td>電気料金請求先</td></tr></table>	① 機 材	設備機材等指定表による。	② 工 事 用 仮 設 物	構内につくることが ○できる ・できない	③ 発 生 材 の 処 理	※引渡しを要しない。 ・引渡しを要するもの。 ()		※建設廃棄物の運搬、処分等については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」並びに関係法令に従い適正処理を行うものとし、事前に処理計画書を提出し、監督員の承諾を得ること。		(建設廃棄物の運搬又は処分を他業者に委託する場合は、運搬については産業廃棄物運搬業者、処分については産業廃棄物処分業者とそれぞれ、書面により委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付すること。産業廃棄物マニフェストは、廃棄物種別、数量を明確にし、後日その写しを監督員に提出すること。)		・特別管理産業廃棄物(廃石綿等)の運搬、処分等については、上記による他、特別管理産業廃棄物管理票(マニフェスト)を使用すること。	④ 残 土 処 分	・構内指示の場所に敷きならし ○構外搬出適切処理	⑤ 工 事 ・ 完 成 写 真	カラーサービス版 指示枚1部	⑥ 他 工 事 と の 取 り 合	はり貫通部の補強 ※別途工事 ・本工事		はり貫通部のスリーブ ※本工事 ・別途工事		天井埋込型器具の取付箇所の下地の切り込み及び補強 ※別途工事 ・本工事		軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地 ※本工事 ・別途工事		埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強		仮枠 ※本工事 ・別途工事		補強 ※別途工事 ・本工事		テレビアンテナ、避雷針の基礎 ※別途工事 ・本工事	⑦ 露 出 配 管	露出配管には、ねじなし電線管を使用しない。	8 塗 装	露出配管および支持金物等は指示なき限りフタル酸系塗料にて指定色2回塗りとする。屋外またはそれに準ずる箇所は同3回塗りとする。その他特殊場所については監督員の指示に従う。	⑨ 呼 び 線	長さ1m以上の入線しない管路には 1.2mm以上のIV電線を挿入し両端には行先表示を取り付ける。	10 プ レ ー ト の 材 質	・樹脂製 ・新金属 ・ステンレス	⑪ ブ ル ボ ッ ク ス	F5型(埋込部を除く、ふた部分)はメラミン焼付塗装とする。屋外・屋側に設けるブルボックスはSUS304を使用し、防水型とする。	12 カバ-プレート-の表示	電灯灯、動力動、電話T、電気時計時、放送放、表示表、インターホンイ、テレビ共聴TV、火災報知火印のシールを貼付ける。	⑬ 電 線 本 数 ・ 管 路 等	制御回路、通信設備の配線で、配線経路、電線サイズ、電線本数、管路サイズなどは監督員との協議により図面表示と多少相違、増加させてよい。	⑭ ボ ル ト ・ 等	ボルト・ビス・ナット・木ネジ等は黄銅、ステンレス等の錆びない性質のものを使用する。	⑮ 地 中 配 管	地中配管で金属管を使用する場合は防触テープを施す。ただし特に指示のない場合は耐衝撃性強化ビニル電線管を使用する。	⑯ 地 中 管 路 埋 設 表 示	地中配管埋設備所には配管の行先を表示する。方向を記入したコンクリート杭(100X100X300)を埋設する。ただし、舗装された場所は鉄製鎮(建設省認定品)とする。		設置間隔は特記なき限り15mとする。また、高低圧埋設テープ(ダブルGL-300)施工のこと。	⑰ 接 地 埋 設 表 示	黄銅板製(避雷設備用及び共同接地極埋設表示)	⑱ ハンドホール及びマンホール	ハンドホール内での配線にはケーブル余長を約1m程度見込む。またケーブルには負荷種別を記入したアクリル板の名札を取付ける。強固仕切ブロックは2段積みとする。		ふたは電気文字入りとする。		形式 ・H1 ※H2 カバー ※SBK ・RBK マンホールは特記による	⑲ 提 出 図 書 の 部 数	(1)工 程 表 ※ 2 部 ・ 2 部 (2)内訳明細書 ※ 2 部 ・ 2 部		(3)安全管理組織表 ・ 2 部 (4)下 請 業 者 届 ・ 2 部		(5)主要資材発注先届 ・ 2 部 (6)免許・資格等の写し ・ 2 部		(7)工事施工計画書 ・ 2 部 (8)施 工 図 ・ 1 部(原図)		(9)機器承認図 ・ 3 部 (10)機器取付 詳細図 ・ 2 部		(11)黒表紙金文字製本(竣工時) ○ 要 2 部 ・ 不要	20 需 要 家 名	電気料金の需要家名を次のようにする。		需要家名		電気料金請求先
① 機 材	設備機材等指定表による。																																																																																
② 工 事 用 仮 設 物	構内につくることが ○できる ・できない																																																																																
③ 発 生 材 の 処 理	※引渡しを要しない。 ・引渡しを要するもの。 ()																																																																																
	※建設廃棄物の運搬、処分等については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」並びに関係法令に従い適正処理を行うものとし、事前に処理計画書を提出し、監督員の承諾を得ること。																																																																																
	(建設廃棄物の運搬又は処分を他業者に委託する場合は、運搬については産業廃棄物運搬業者、処分については産業廃棄物処分業者とそれぞれ、書面により委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付すること。産業廃棄物マニフェストは、廃棄物種別、数量を明確にし、後日その写しを監督員に提出すること。)																																																																																
	・特別管理産業廃棄物(廃石綿等)の運搬、処分等については、上記による他、特別管理産業廃棄物管理票(マニフェスト)を使用すること。																																																																																
④ 残 土 処 分	・構内指示の場所に敷きならし ○構外搬出適切処理																																																																																
⑤ 工 事 ・ 完 成 写 真	カラーサービス版 指示枚1部																																																																																
⑥ 他 工 事 と の 取 り 合	はり貫通部の補強 ※別途工事 ・本工事																																																																																
	はり貫通部のスリーブ ※本工事 ・別途工事																																																																																
	天井埋込型器具の取付箇所の下地の切り込み及び補強 ※別途工事 ・本工事																																																																																
	軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地 ※本工事 ・別途工事																																																																																
	埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強																																																																																
	仮枠 ※本工事 ・別途工事																																																																																
	補強 ※別途工事 ・本工事																																																																																
	テレビアンテナ、避雷針の基礎 ※別途工事 ・本工事																																																																																
⑦ 露 出 配 管	露出配管には、ねじなし電線管を使用しない。																																																																																
8 塗 装	露出配管および支持金物等は指示なき限りフタル酸系塗料にて指定色2回塗りとする。屋外またはそれに準ずる箇所は同3回塗りとする。その他特殊場所については監督員の指示に従う。																																																																																
⑨ 呼 び 線	長さ1m以上の入線しない管路には 1.2mm以上のIV電線を挿入し両端には行先表示を取り付ける。																																																																																
10 プ レ ー ト の 材 質	・樹脂製 ・新金属 ・ステンレス																																																																																
⑪ ブ ル ボ ッ ク ス	F5型(埋込部を除く、ふた部分)はメラミン焼付塗装とする。屋外・屋側に設けるブルボックスはSUS304を使用し、防水型とする。																																																																																
12 カバ-プレート-の表示	電灯灯、動力動、電話T、電気時計時、放送放、表示表、インターホンイ、テレビ共聴TV、火災報知火印のシールを貼付ける。																																																																																
⑬ 電 線 本 数 ・ 管 路 等	制御回路、通信設備の配線で、配線経路、電線サイズ、電線本数、管路サイズなどは監督員との協議により図面表示と多少相違、増加させてよい。																																																																																
⑭ ボ ル ト ・ 等	ボルト・ビス・ナット・木ネジ等は黄銅、ステンレス等の錆びない性質のものを使用する。																																																																																
⑮ 地 中 配 管	地中配管で金属管を使用する場合は防触テープを施す。ただし特に指示のない場合は耐衝撃性強化ビニル電線管を使用する。																																																																																
⑯ 地 中 管 路 埋 設 表 示	地中配管埋設備所には配管の行先を表示する。方向を記入したコンクリート杭(100X100X300)を埋設する。ただし、舗装された場所は鉄製鎮(建設省認定品)とする。																																																																																
	設置間隔は特記なき限り15mとする。また、高低圧埋設テープ(ダブルGL-300)施工のこと。																																																																																
⑰ 接 地 埋 設 表 示	黄銅板製(避雷設備用及び共同接地極埋設表示)																																																																																
⑱ ハンドホール及びマンホール	ハンドホール内での配線にはケーブル余長を約1m程度見込む。またケーブルには負荷種別を記入したアクリル板の名札を取付ける。強固仕切ブロックは2段積みとする。																																																																																
	ふたは電気文字入りとする。																																																																																
	形式 ・H1 ※H2 カバー ※SBK ・RBK マンホールは特記による																																																																																
⑲ 提 出 図 書 の 部 数	(1)工 程 表 ※ 2 部 ・ 2 部 (2)内訳明細書 ※ 2 部 ・ 2 部																																																																																
	(3)安全管理組織表 ・ 2 部 (4)下 請 業 者 届 ・ 2 部																																																																																
	(5)主要資材発注先届 ・ 2 部 (6)免許・資格等の写し ・ 2 部																																																																																
	(7)工事施工計画書 ・ 2 部 (8)施 工 図 ・ 1 部(原図)																																																																																
	(9)機器承認図 ・ 3 部 (10)機器取付 詳細図 ・ 2 部																																																																																
	(11)黒表紙金文字製本(竣工時) ○ 要 2 部 ・ 不要																																																																																
20 需 要 家 名	電気料金の需要家名を次のようにする。																																																																																
	需要家名																																																																																
	電気料金請求先																																																																																

-2-2 特記事項	<table><tr><td>① 配 線 の 色 分 け</td><td>動力(3φ3W)-赤白青、電灯(1φ3W)-赤白黒</td></tr><tr><td>2 ス イ ッ チ</td><td>大角連用型とする。すべてネーム入りとし、換気扇用は表示ランプ付きとする。また、はさみ込み金具は使用しない。</td></tr><tr><td>3 コ ン セ ン ト</td><td>大角連用型とする。連用型以外のコンセントはプラグ付きとする。また、はさみ込み金具は使用しない。</td></tr><tr><td>4 照 明 器 具 の 接 地</td><td>コード吊り以外の蛍光灯器具はすべて接地する。接地線はIV1.6mm以上(緑色)とする。</td></tr><tr><td>5 位 置 ボ ッ ク ス</td><td>照明器具にはすべて位置ボックスを設ける。</td></tr></table>	① 配 線 の 色 分 け	動力(3φ3W)-赤白青、電灯(1φ3W)-赤白黒	2 ス イ ッ チ	大角連用型とする。すべてネーム入りとし、換気扇用は表示ランプ付きとする。また、はさみ込み金具は使用しない。	3 コ ン セ ン ト	大角連用型とする。連用型以外のコンセントはプラグ付きとする。また、はさみ込み金具は使用しない。	4 照 明 器 具 の 接 地	コード吊り以外の蛍光灯器具はすべて接地する。接地線はIV1.6mm以上(緑色)とする。	5 位 置 ボ ッ ク ス	照明器具にはすべて位置ボックスを設ける。
① 配 線 の 色 分 け	動力(3φ3W)-赤白青、電灯(1φ3W)-赤白黒										
2 ス イ ッ チ	大角連用型とする。すべてネーム入りとし、換気扇用は表示ランプ付きとする。また、はさみ込み金具は使用しない。										
3 コ ン セ ン ト	大角連用型とする。連用型以外のコンセントはプラグ付きとする。また、はさみ込み金具は使用しない。										
4 照 明 器 具 の 接 地	コード吊り以外の蛍光灯器具はすべて接地する。接地線はIV1.6mm以上(緑色)とする。										
5 位 置 ボ ッ ク ス	照明器具にはすべて位置ボックスを設ける。										

-2-3
その他

6 VVFケーブルのジョイント	※アウトレットボックス ・ブルボックス ・VVF用ジョイントボックス
ボックス	
7 分 電 盤 の 予 備 配 管	予備の配線用遮断器4個以下の場合(25)を1本、5個以上の場合(25)を2本次のように施行する。
	天井スラブの場合-天井又は、梁下20cmまで立下げ、中深アウトレットボックスにカバープレート
	取付
	二重天井の場合-天井内まで立上げ、中深アウトレットボックスにカバープレート取付
⑧ 遮 断 器 等	動力分岐用MCB等の定格遮断電流は5000A以上とする。電灯については2500A以上とする。
	保護継電器2Eは、熱動形過負荷単相運転防止継電器とする(動力の場合)。
⑨ 屋 外 金 物	引留・配管支持金物等は、ステンレス、亜鉛ドブづけ等の錆びないものを使用する。
⑩ 変 圧 器	変圧器の油には、酸化防止剤を入れておく。

1. 機器取付高 機器取付高は下記を標準とする。ただし監督員の指示により変更することがある。

名 称	測 点	取 付 高 (mm)	名 称	測 点	取 付 高 (mm)		
電力 共通 電	取 引 用 計 器	地上～窓中心	1,800	火 災 報 知 電 気 時 計 ・ 拡 声 表 示 ・ 電 鈴 イ ン タ ー ホ ン テ レ ビ 共 聴	受信機・副受信機	床上～中心	800～1,500
	引 込 開 閉 器	床上～中心	2,100		専用給合盤	〃	800～1,500
					発信器	〃	800～1,500
	分 電 盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)		ベ ル	〃	2,300
	点 滅 器	〃	1,300		発信器標識灯	〃	2,100
	コンセント (一般)	〃	300				
	〃 (和室)	〃	200		壁掛型親時計	床上～中心	1,500 (上端1,900以上)
	〃 (台上)	台上～中心	150		子 時 計	〃	2,300
	〃 (土間)	床上～中心	800		壁掛型スピーカー	〃	2,300
	ブラケット (一般)	〃	2,100		壁付音量調整器	〃	1,300
〃 (踊場)		2,000～2,500					
〃 (鏡上)	鏡上端～中心	150	表 示 器	床上～中心	2,300		
身障者便所操作盤	床上～中心	900～1,100	壁 付 発 信 器	〃	1,300		
打 動 力 電				ブ ザ ー	〃	2,300	
				壁付押ボタン (一般)	〃	1,300	
	壁掛型制御盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	〃 (身障者玄関)	〃	900～1,100	
	手 元 開 閉 器	〃	1,500	〃 (身障者便所)	〃	900～1,100	
	操 作 ス イ ッ チ	〃	1,300	電 源 箱	〃	1,500	
				壁付インターホン (一般)	床上～中心	1,300	
	端 子 盤	床上～下端	300	〃 (身障者)	〃	900～1,100	
				壁付位置ボックス	〃	300	
	壁付位置ボックス	床上～中心	300	〃 (和室)	〃	200	
〃 (和室)	〃	200					
話				直 列 ユ ニ ッ ト	床上～中心	300	
				〃 (和室)	〃	200	

2. 配線図記号その他 ※図中特にことわりのない場合、下記に従い施工する。(特記による)

(電灯設備)	(放送設備)	(自動火災報知設備)
1.6X2 PF(16)	AMP ・ W 局 選 択	☐ 差動式スポット型感知器2種
1.6X3 PF(16)	・ラジオなし ・AMラジオ付	☐ 定温式スポット型感知器1種
1.6X4 PF(16)	・AM/FMラジオ付	☐ 定温式スポット型感知器1種防水型
1.6X5 PF(16)	③ 壁掛スピーカー W	☑ 光電式煙感知器
1.6X6 PF(16)	④ 天井埋込スピーカー W	(その他)
H	アモネーター W	⑥ 壁付電話用アウトレット
F2	FM FMアンテナ 5素子 BL型	⑦ ボタン電話用ローテーション
F3		⑧ インターホン 局相互式
F4	(テレビ共聴設備)	⑨ 同上ボタン電話用ローテーションより引出し
F5	IV VHFアンテナ 8素子 BL型	
F6	・アルミ ・ステンレス	
	UV UHFアンテナ 20素子 BL型	
	・アルミ ・ステンレス	
	⑩ 直列ユニット 75Ω、300Ω	
	R 終端抵抗	

H14年度	設計番号	全 10 葉の内第 1 号
名	東部総合運動場野球場関連施設電気設備工事	
称	特記仕様書(1)	
設計	精査	係長
	副所長	所長
東部環境センター 平成 年 月 日		

作図	年 月 日	縮尺	図番	1 /
			課長	課長補佐
			係長	設計

特記仕様書 (2)

[illegible]

本表に記載のないメーカーであっても、係員の承認を得れば、使用できるものとする。

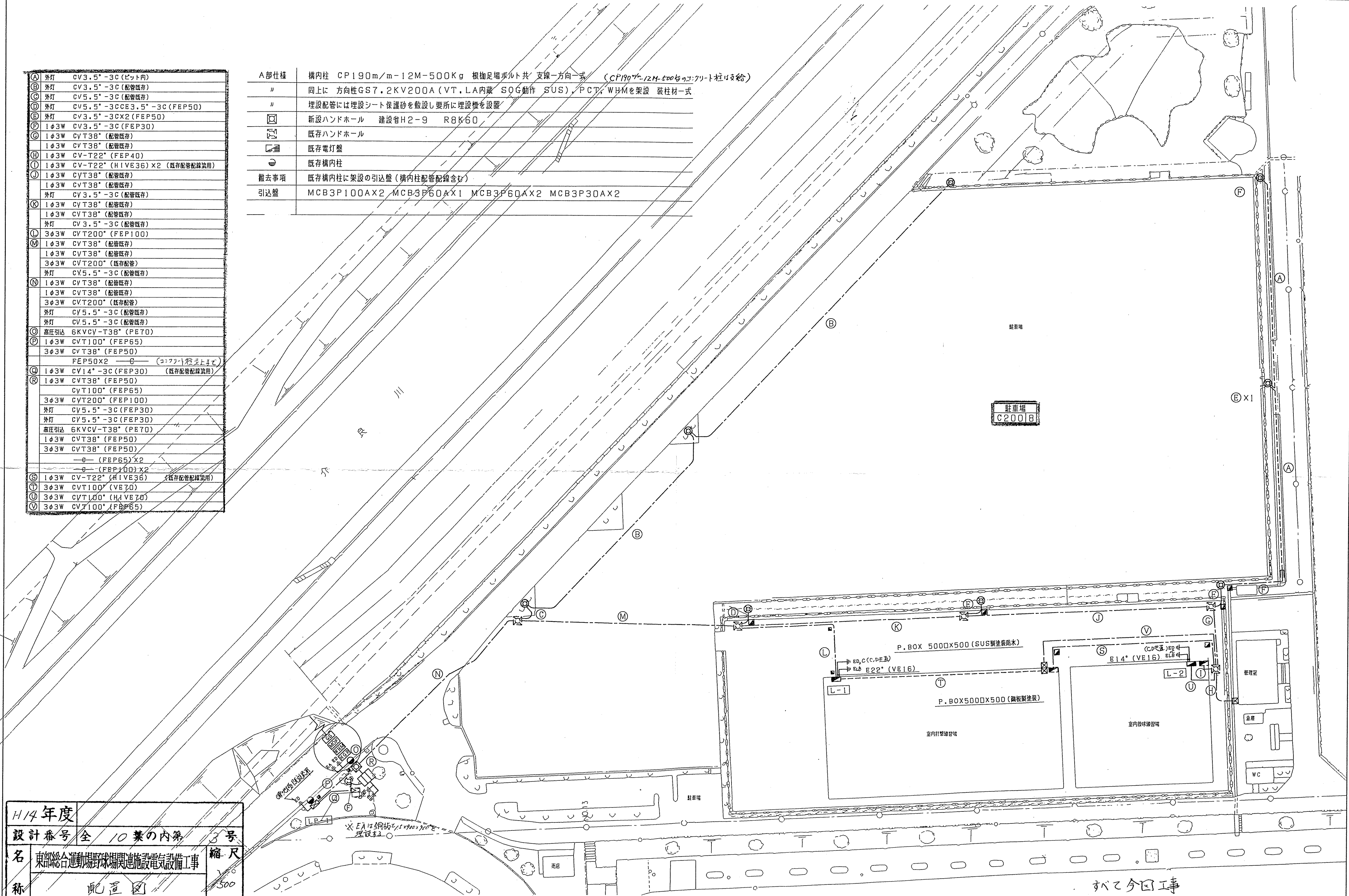
[illegible][illegible]

H17年度							
設計番号		全 10 葉の内第		2 号			
名称	東部総合運動場野球場関連施設電気設備工事					縮尺	
	特記仕様書(2)						
設計		精査		係長		副所長	
						所長	
東部環境センター 平成 年 月 日							

東部環境センター電気設備工事				
作 年 月 日	縮尺	図番 2 /		
		課長	課長補佐	係長
				設計

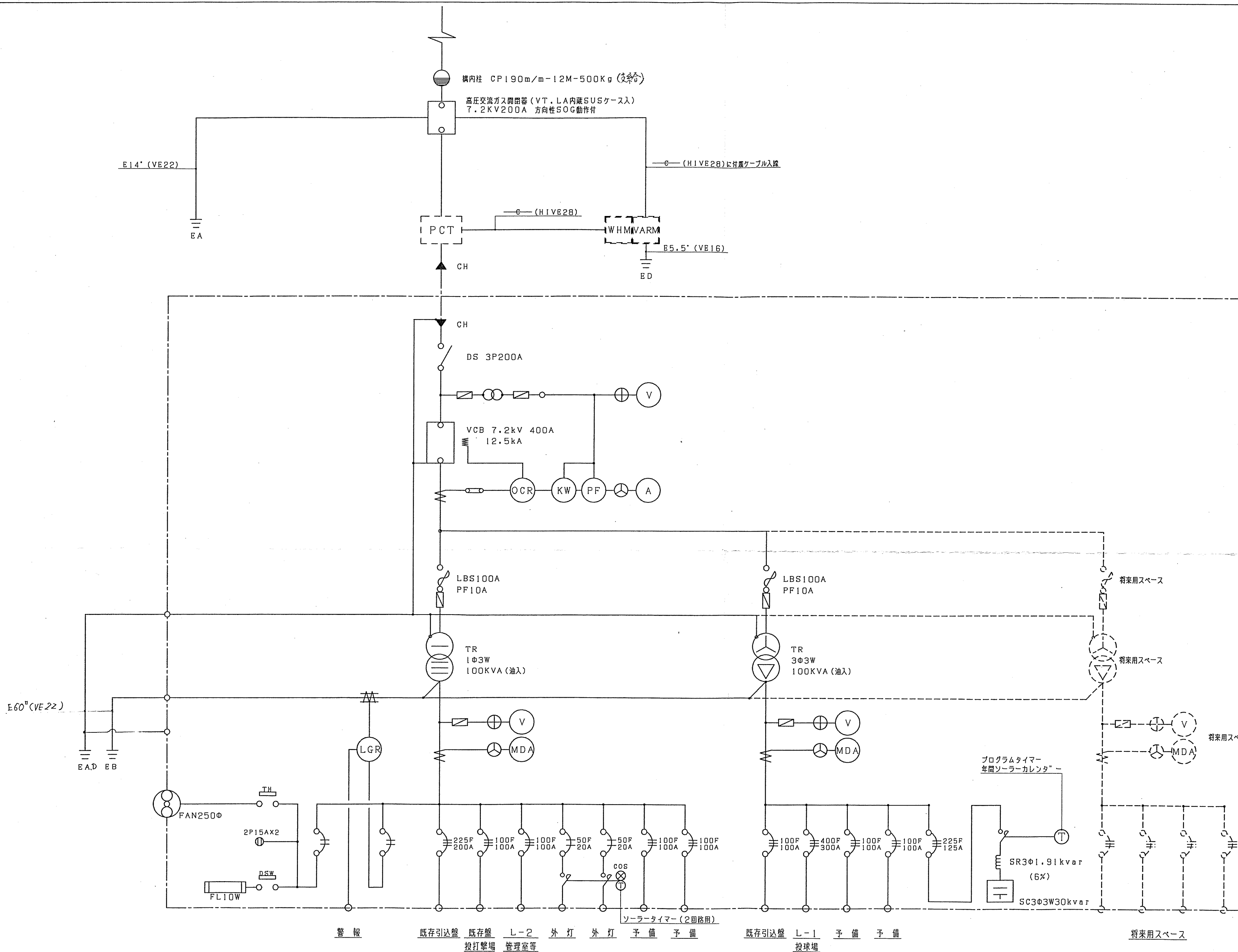
Ⓐ	外灯	CV3.5°-3C(ビット内)
Ⓑ	外灯	CV3.5°-3C(配管既存)
Ⓒ	外灯	CV5.5°-3C(配管既存)
Ⓓ	外灯	CV5.5°-3CCE3.5°-3C(FEP50)
Ⓔ	外灯	CV3.5°-3CX2(FEP50)
Ⓕ	1φ3W	CV3.5°-3C(FEP30)
Ⓖ	1φ3W	CVT38°(配管既存)
Ⓗ	1φ3W	CVT38°(配管既存)
Ⓘ	1φ3W	CV-T22°(FEP40)
Ⓛ	1φ3W	CV-T22°(HIVE36)×2(既存配管配線共用)
Ⓜ	1φ3W	CVT38°(配管既存)
Ⓝ	1φ3W	CVT38°(配管既存)
Ⓟ	1φ3W	CVT38°(配管既存)
Ⓡ	外灯	CV3.5°-3C(配管既存)
Ⓢ	1φ3W	CVT38°(配管既存)
Ⓣ	1φ3W	CVT38°(配管既存)
Ⓤ	外灯	CV3.5°-3C(配管既存)
Ⓡ	3φ3W	CVT200°(FEP100)
Ⓜ	1φ3W	CVT38°(配管既存)
Ⓝ	1φ3W	CVT38°(配管既存)
Ⓟ	3φ3W	CVT200°(既存配管)
Ⓡ	外灯	CV5.5°-3C(配管既存)
Ⓢ	外灯	CV5.5°-3C(配管既存)
Ⓣ	高圧引込	6KVCV-T38°(PE70)
Ⓤ	1φ3W	CVT100°(FEP65)
Ⓡ	3φ3W	CVT38°(FEP50)
Ⓢ	3φ3W	FEP50×2
Ⓣ	1φ3W	CV14°-3C(FEP30)(既存配管配線共用)
Ⓤ	1φ3W	CVT38°(FEP50)
Ⓡ	3φ3W	CVT100°(FEP65)
Ⓢ	3φ3W	CVT200°(FEP100)
Ⓣ	外灯	CV5.5°-3C(FEP30)
Ⓤ	外灯	CV5.5°-3C(FEP30)
Ⓡ	高圧引込	6KVCV-T38°(PE70)
Ⓢ	1φ3W	CVT38°(FEP50)
Ⓣ	3φ3W	CVT38°(FEP50)
Ⓤ	3φ3W	CVT38°(FEP50)×2
Ⓡ	3φ3W	CV-T22°(HIVE36)(既存配管配線共用)
Ⓢ	3φ3W	CVT100°(VE70)
Ⓣ	3φ3W	CVT100°(HIVE70)
Ⓤ	3φ3W	CVT100°(FEP65)

A部仕様	構内柱 CP190m/m-12M-500Kg 根拠足場承ルト共 支線一方向一式 (CP190m/m-12M-500Kgのゴ-フリート柱は支給)
〃	同上に 方向性GS7.2KV200A(VT.LA内蔵 SOG動作 SUS),PCT,WHMを架設 装柱材一式
〃	埋設配管には埋設シート保護砂を敷設し要所に埋設標を設置
□	新設ハンドホール 建設省H2-9 R8K60
Ⓜ	既存ハンドホール
Ⓜ	既存電灯盤
Ⓜ	既存構内柱
撤去事項	既存構内柱に架設の引込盤(構内柱配管配線含む)
引込盤	MCB3P100AX2 MCB3P60AX1 MCB3P60AX2 MCB3P30AX2



H14年度	
設計番号	全 10 葉の内第 3 号
名	東部総合運動場野球場関連施設電気設備工事
称	配電図
縮尺	1/500
設計	精査
係長	副所長
所長	
東部環境センター 平成 年 月 日	

設備設計図	図面名 配置図	SCALE S=1/500	SHEET NO 3	(有) 刈谷設備設計事務所	
DRAWN BY	CHECKED BY	DATE	TEL (088) 832-7371	高知市大原町 87-8	



H14	年度		
設計	番号	全 10 葉の内第	号
名	東部総合運動場野球場関連施設電気設備工事		縮尺
称	受変電設備結線図		
設計	精査	係長	副所長
			所長
		東部環境センター	平成 年 月 日

特記 二次側開閉器は全てAL付
故障警報
過電流 (OCR)
1φ3W トリップ (AL)
3φ3W トリップ (AL)

受変電設備 (SUS WP 指定色塗装)

すべて今回工事

設備設計図	図面名 受変電設備結線図	SCALE	SHEET NO 4	(有) 刈谷設備設計事務所
DRAWN BY	CHECKED BY	DATE	TEL (088) 832-7371	高知市大原町 87-8